

2023年9月29日 全7頁

## Indicators Update

# 2023年8月鉱工業生産

自動車工場の稼働停止などを受け生産指数は前月から横ばい

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2023年8月の生産指数は前月から横ばいとなった。トヨタ自動車の完成車工場の稼働停止などにより自動車工業が下振れした一方、石油・石炭製品工業や電気・情報通信機械工業などが全体を押し上げた。経済産業省は基調判断を「一進一退」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は、当面は均して見れば自動車の挽回生産により緩やかな上昇基調が継続するとみている。他方、海外のみならず国内においても資本財需要が低迷しており、資本財生産が一段と減少する可能性には注意が必要だ。
- 10月6日に公表予定の8月分の景気動向指数は先行CIが前月差+0.9ptの109.1、一致CIが同+0.1ptの114.3と予想する。予測値に基づく、8月の基調判断は機械的に「改善」に据え置かれる。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2023年							8月	9月	10月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			
鉱工業生産	▲3.9	+3.7	+0.3	+0.7	▲2.2	+2.4	▲1.8	+0.0		
コンセンサス								▲0.8		
DIR予想								▲1.9		
生産予測調査									+5.8	+3.8
補正值(最頻値)									+3.7	
出荷	▲3.2	+4.3	+0.9	▲0.2	▲1.1	+1.6	▲1.8	+0.1		
在庫	▲0.7	+1.0	+0.4	▲0.1	+1.8	+0.2	+0.6	▲1.7		
在庫率	+2.0	▲1.6	+1.3	+1.8	+1.5	▲0.8	+1.0	▲1.7		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

## 【生産】トヨタ自動車の工場稼働停止もあって普通乗用車の生産にブレーキ

2023年8月の生産指数は前月から横ばいだった。自動車工業が下振れした一方、石油・石炭製品工業などが押し上げた。なお、コンセンサス（前月比▲0.8%、Bloomberg 調査）は上回ったが、生産指数と連動する輸出数量（内閣府による季節調整値）が同▲6.7%と大幅に減少していたために慎重な見方が多かったようだ。経済産業省は基調判断を「一進一退」に据え置いた。

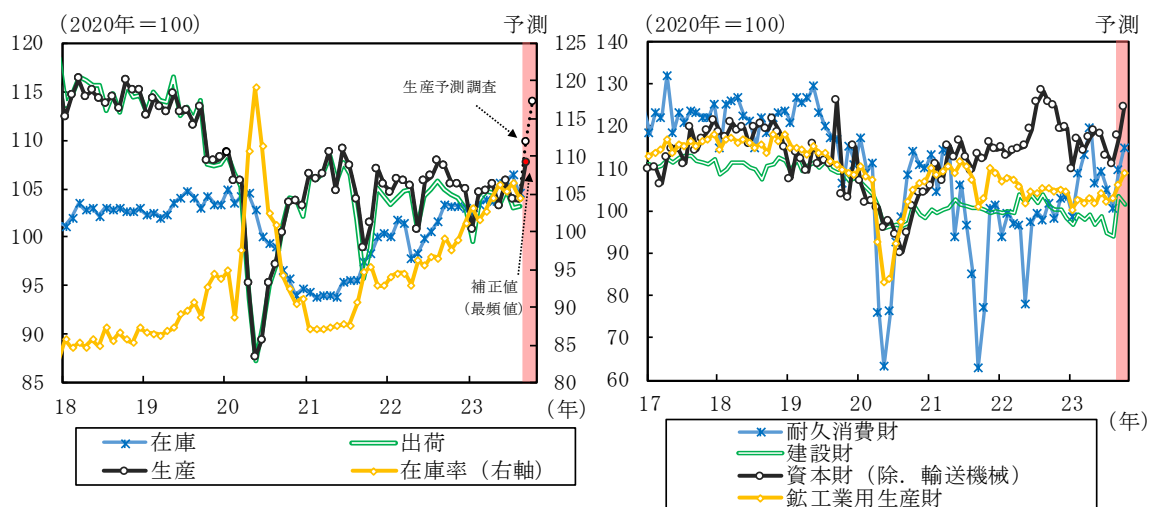
生産指数を業種別に見ると、15業種中5業種が前月から上昇した。自動車工業（前月比▲3.9%）における普通乗用車（同▲14.4%）の減産が全体を押し下げた。トヨタ自動車システム不具合によって8月29～30日に全国的に工場の稼働を停止したことが影響した。なお、同社の普通乗用車の国内生産台数シェアは69.1%（2021年、日本自動車工業会およびトヨタ自動車より大和総研試算）、工場の稼働停止は8月の22営業日中2日間（約9%）であるため、単純に概算すれば国内全体の普通乗用車生産への影響は▲6.3%ptとなる。これを差し引いて見ても普通乗用車の生産指数の低下幅は同▲8.1%と大きかった。その他の業種では、石油・石炭製品工業（同+5.5%）や電気・情報通信機械工業（同+1.0%）などが上昇した。また、7月23日から輸出管理が強化された半導体製造装置は同▲0.4%となった。7月時点で既に同▲16.5%と大幅に低下していたことから、8月の減産は小幅にとどまったとみられる。

財別では、非耐久消費財（前月比+2.0%）や生産財（同+0.7%）が上昇した一方、耐久消費財（同▲4.1%）、資本財（除. 輸送機械）（同▲1.9%）、建設財（同▲0.8%）は低下した。

## 【出荷・在庫】設備投資動向を示す資本財出荷は上昇に転じるも勢いは弱い

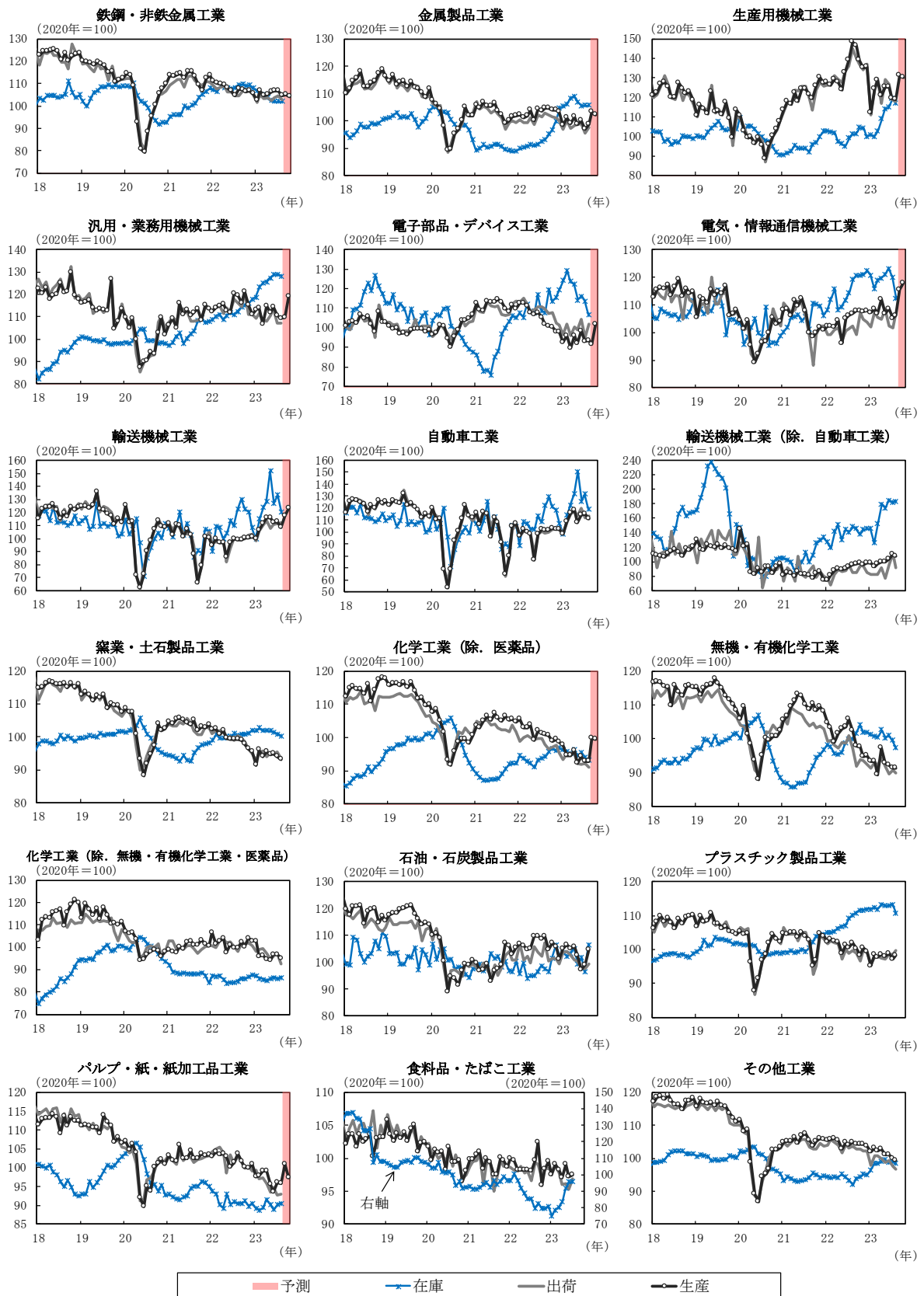
8月の出荷指数は前月比+0.1%と2カ月ぶりに上昇した。業種別では、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、自動車工業など15業種中7業種が上昇した。財別では耐久消費財、生産財、資本財（除. 輸送機械）が上昇した一方、建設財と非耐久消費財は低下した。設備投資動向を示す資本財（除. 輸送機械）の出荷指数は上昇に転じたが、7月の急落を補うには至らなかった。在庫指数は同▲1.7%、在庫率指数は同▲1.7%となった。

図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



(注) 生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值。その他シャドウ部分の値は、製造工業生産予測調査による。  
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業(除.医薬品)の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。  
 (注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。  
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成

## 【先行き】引き続き自動車の挽回生産に期待／国内外の資本財需要に影

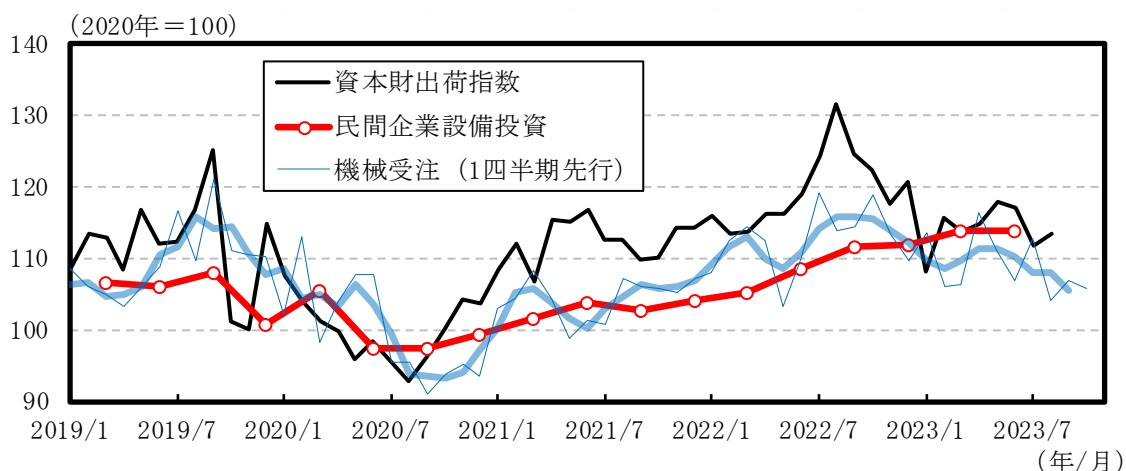
先行きの生産指数は、当面は均して見れば自動車の挽回生産を主因に緩やかな上昇基調が継続するとみている。自動車のペントアップ（繰越）需要は、国内の家計向けだけでも8月末で約49万台（金額では約1.3兆円）に上ると試算される。足元では挽回生産によってペントアップ需要の発現が進んでおり、2023年度中は生産指数をけん引する見込みだ。

他方、先行きは資本財の生産動向が懸念材料となろう。企業の収益動向は好調だが、機械受注統計や上述の資本財出荷指数に見る足元の設備投資動向は軟調だ（**図表4**）。SNAベースの民間企業設備投資で見れば底堅く推移しているが、これはR&D投資などに支えられている側面もあり、資本財に限れば国内需要は弱い。また外需に目を向けると、欧米では高金利を背景に企業の借入コストが高水準にあるほか、主要な輸出先である中国では不動産不況が深刻化している。国外でも資本財需要の低迷が見込まれる中、日本の資本財生産が一段と減少する可能性には注意が必要だ。

製造工業生産予測調査によると、9月は前月比+5.8%（生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同+3.7%）と見込まれている。業種別では11業種中9業種が上昇する見込みだ。輸送機械工業（同+8.1%）で8月の普通自動車の減産の反動増が表れるほか、生産用機械工業（同+10.2%）や電気・情報通信機械工業（同+8.8%）、化学工業（同+7.6%）での増産が見込まれている。他方、電子部品・デバイス工業（同▲2.2%）や石油製品工業（同▲0.2%）は減産となる見込みだ。

10月は前月比+3.8%と見込まれている。業種別では11業種中6業種が上昇する見込みだ。9月に続いて輸送機械工業（同+5.3%）で増産が計画されているほか、このところ底這い圏での推移が続いている電子部品・デバイス工業（同+11.2%）で2桁台の伸びが見込まれている。

図表4：国内の設備投資動向



(注) 資本財出荷は輸送機械を除くベース。機械受注は船電除く民需で、太線は3カ月移動平均。民間企業設備投資はSNAベースの名目値。

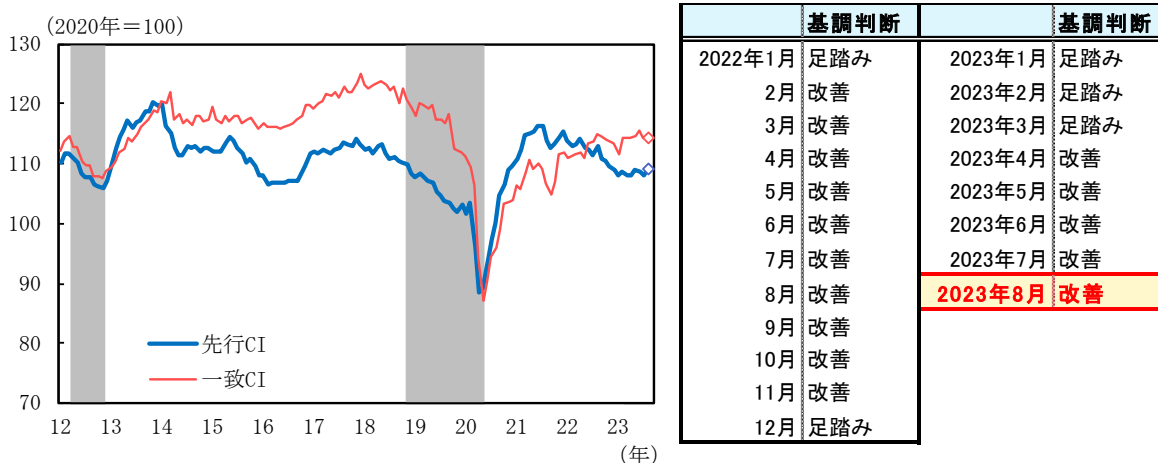
(出所) 経済産業省、内閣府より大和総研作成

## 【8月景気動向指数】一致CI、先行CIともに小幅な上昇の見込み

鉱工業指数の結果を受け、10月6日に公表予定の8月分の景気動向指数は先行CIが前月差+0.9ptの109.1、一致CIが同+0.1ptの114.3と予想する（**図表5**）。先行CIでは構成指標のうち、鉱工業用生産財在庫率指数や新規求人数（除学卒）、最終需要財在庫率指数などが改善した。また一致CIでは構成指標のうち、輸出数量指数が大幅に悪化したものの、耐久消費財出荷指数や鉱工業用生産財出荷指数の改善がこれを補ったとみている。この予測値に基づく、8月の基調判断は機械的に「改善」に据え置かれる。

先行きの経済活動は回復が足踏みするとみている。2023年4-6月期の実質GDP成長率（2次速報）は前期比年率+4.8%と高成長だったが、主因は輸入の減少であり、民需は個人消費も設備投資も振るわなかった<sup>1</sup>。7-9月期の実質GDPは、外需部門における前期からの反動減もあって小幅なマイナス成長となる見込みである。とりわけ設備投資は下振れする可能性が高まっており、設備投資動向によっては成長率のマイナス幅が拡大するだろう。

図表5：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移

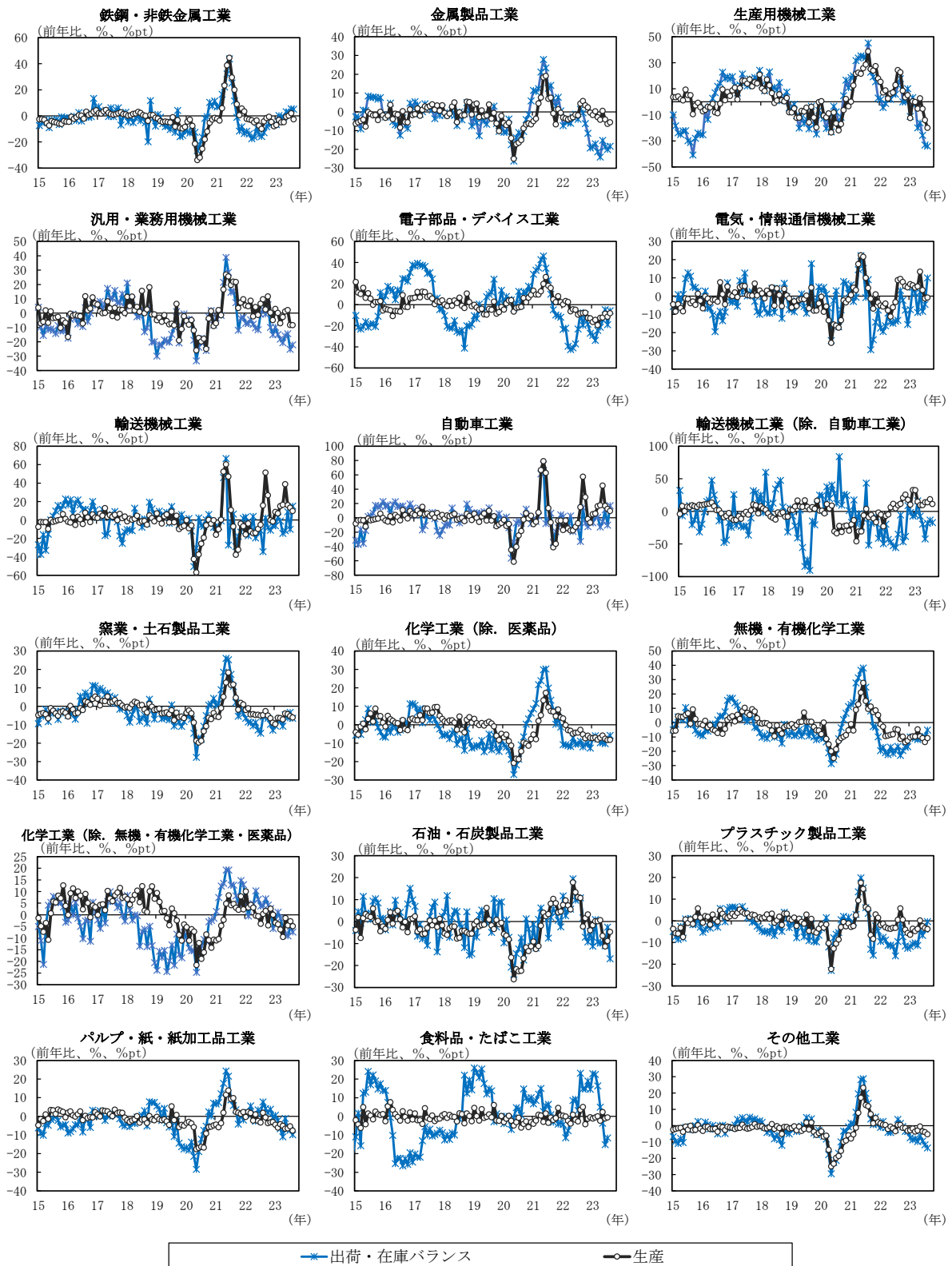


（注）左図の直近は大和総研による予測値。シャドーは景気後退期。  
右図の2023年4月以前の基調判断は2015年基準による。同年8月は和総研予想。  
（出所）内閣府統計より大和総研作成

<sup>1</sup> 詳細は神田慶司・岸川和馬「[2023年4-6月期GDP（2次速報）](#)」（大和総研レポート、2023年9月8日）参照。



## 業種別 出荷・在庫バランスと生産



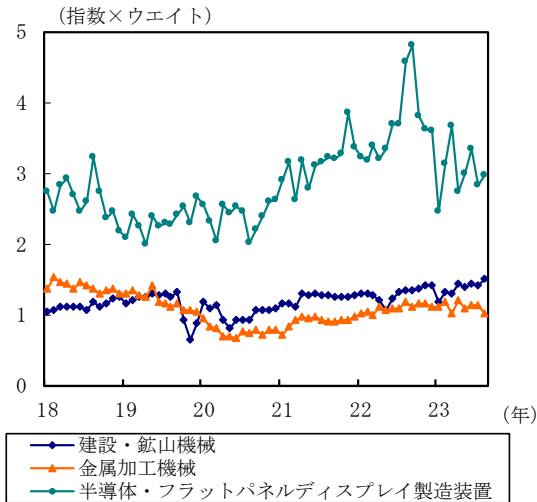
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

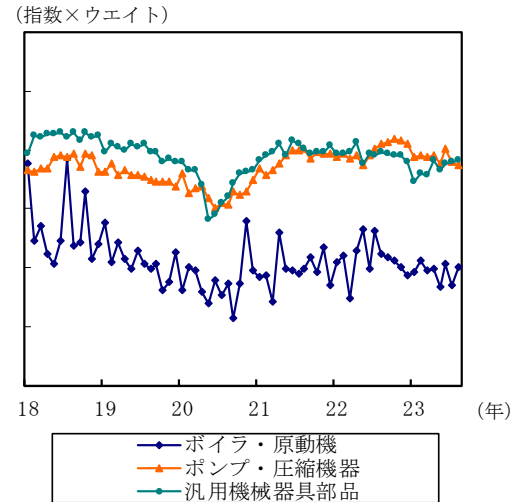
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

主要産業の生産動向(季節調整値)

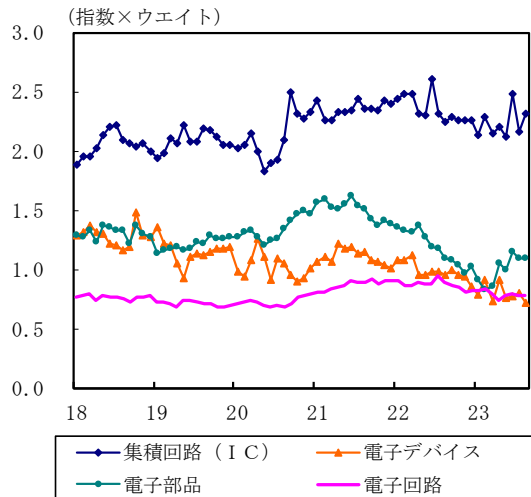
生産用機械



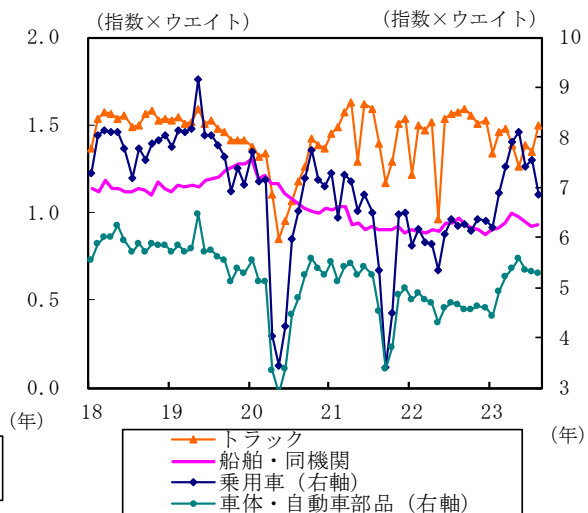
汎用・業務用機械



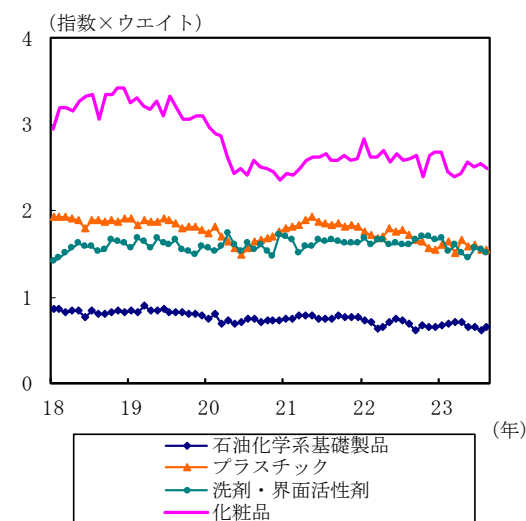
電子部品・デバイス



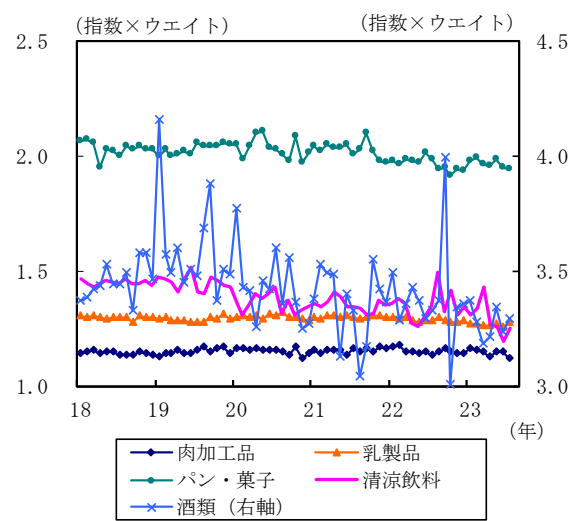
輸送機械



化学



食品・たばこ工業



(注) 食品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成